

事業の基礎情報

実施主体	高森町
事業実施地域	高森町
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	観光／まちづくり ・ その他(買い物)
共創パートナー	南阿蘇鉄道株式会社 ・ 一般社団法人高森観光推進機構 ・ 高森町商工会（スーパー等） ・ 有限会社阿蘇観光タクシー ・ 有限会社高森駅前タクシー ・ セフティー観光JAPAN(株)高森営業所 ・ アプリ／配車システム事業者
運行形態	自家用有償旅客運送
運行主体	セフティー観光JAPAN(株)高森営業所

取組の概要

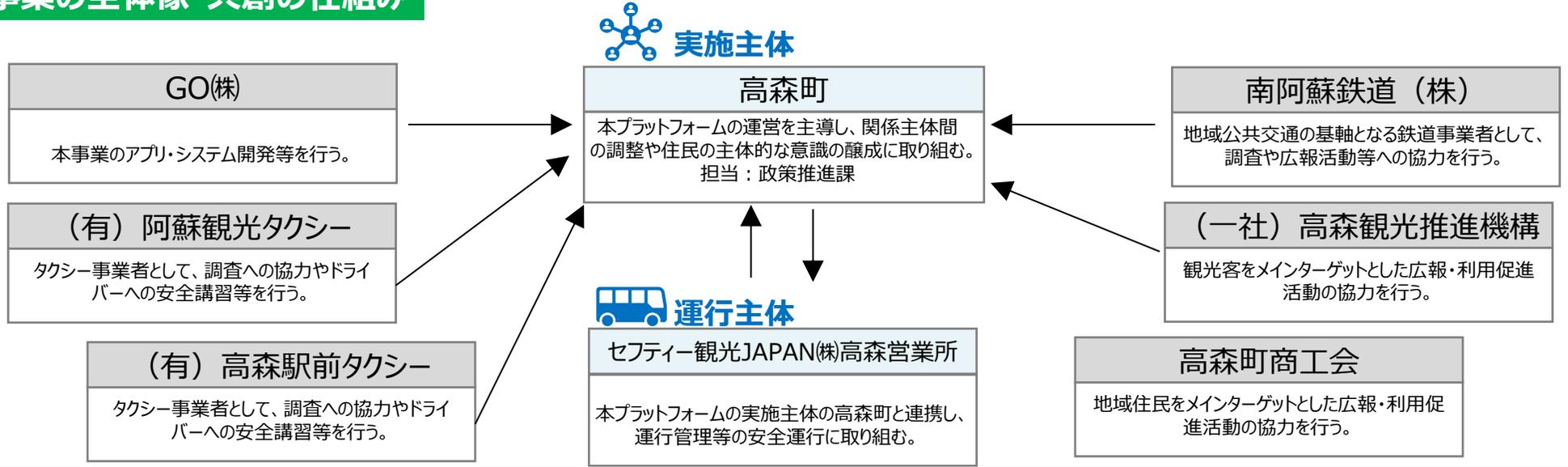
（現状の地域課題と事業目的）

高森町では、町内タクシー事業者が2社のみと限られ、各事業者もドライバー不足から利用希望に応えきれず、休日・夜間を中心に交通空白が発生している状況にある。本プラットフォームでは、こうした状況に的確に対応するため、熊本地震からのリスタートをきった地域公共交通の基軸である南阿蘇鉄道を軸とした持続可能な公共交通網の構築を目指し、高森町ライドシェアの実証等に取り組んでいく。

（事業の概要）

高森町を中心に、鉄道・タクシー事業者、観光事業者、まちづくり団体、商業団体及びアプリ・システム開発事業者が連携・協働し、地域の公共交通利用、移動需要等の実情を調査するとともに、この調査の結果を踏まえつつ、高森町ライドシェアの実証に取り組む。特に、配車システムについては、タクシー優先配車が可能となる仕組みを導入することにより、交通事業者の理解を得ながら事業を推進する。さらに、観光事業者、まちづくり団体及び商業団体との協力により、地域住民・観光客に対する高森町ライドシェアの利用促進、域内消費の拡大等に取り組む。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

本事業では、高森町を中心に、住民・自治体とアプリ・システム開発事業者が連携・協働することにより、利用者・ドライバー・運行管理者が一体的となって高森町ライドシェアの実証を推進できる体制を整えることとしている。また、地域の鉄道・タクシー事業者、観光事業者、まちづくり団体、商業団体等に協力を求め、地域の移動需要を的確に調査するとともに、高森町ライドシェアの広報周知、利用促進等に取り組むこととしており、多様な主体の共創による公共交通サービスの向上・地域経済の活性化が実現するものと考えている。

(実証事業により見込まれる効果)

高森町ライドシェアの導入により、約90台/月の交通サービス供給の増加を見込んでいる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

調査：アプリによる人流データ分析、既存交通機関の乗降データ分析、施設の来訪者分析など

ドライバー募集や説明会 ・ タクシー事業者との事前調整

実証運行：令和7年2月より「タクシー優先配車」を活用した実証運行事業

スケジュール：令和6年5月-令和7年1月に調査・計画、令和7年2月～実証運行

資金面：町の一般予算で計上

※車両購入済み。

(補助事業実施後の予定)

本事業実施後においては、本事業を通じて得られた知見に基づき、更なる利用促進に取り組むとともに、ドライバーの募集活動を起点とした地域公共交通の担い手の確保に取り組み、令和7年度以降の本格運用を目指す。